

〔自衛消防訓練通知書の記入要領〕

自 衛 消 防 訓 練 通 知 書

(1) 年 月 日 東京消防庁 (2) 消防署長 殿 (3) ☐防火・防災管理者 ☐統括防火・防災管理者 氏名			
建 物 所 在	(4)		
建 物 名 称	(5)		
事 業 所 等 の 名 称 階 ・ 用 途*1	(6)		
実 施 日 時	(7) 年 月 日 時 分 ～ 月 日 時 分		
(8) 訓 練 種 別	☐ 総合訓練*2（ ☐ 放水あり・ ☐ 放水なし）		
	部分訓練 ☐通報訓練 ☐消火訓練（☐放水あり・☐放水なし） ☐避難訓練 ☐地震訓練 ☐そ の 他（ ）		
参 加 予 定 人 員	(9) 名	問 合 せ 先	電話 (10)（ ）
訓練概要（具体的な内容） ☐ 「ネットで自衛消防訓練」*3の活用 ☐ 夜間想定 (11)			
※受付欄*4		※経過欄*4	

*1 訓練に参加する事業所等の名称、階、用途が欄内に記載しきれない場合は、参加事業所一覧等の資料を添付してください。

*2 総合訓練とは、一連の自衛消防活動について、通報、消火、避難の要素を取り入れて総合的に実施する訓練のことをいいます。

*3 「ネットで自衛消防訓練」とは、東京消防庁が公開している自衛消防訓練用の映像資料のことをいいます。

*4 ※の欄には、記入しないでください。

〔自衛消防訓練通知書の記入要領〕

項 目	記 入 要 領
(1) 年月日	通知書の提出年月日を記入します。
(2) 宛先	防火対象物を所轄する消防署長宛とします。
(3) 防火・防災管理者 統括防火・防災管 理者	防火・防災管理者又は統括防火・防災管理者の氏名を記入します。 ※該当する方にチェック☑をします。該当しない箇所がある場合、——で抹消する 必要はありません。
(4) 建物所在	防火対象物の所在地を記入します。
(5) 建物名称	防火対象物の名称を記入します。
(6) 事業所の名称 階・用途	ア 訓練を実施する事業所の名称、階、用途を記入します。 イ 複数の事業所が合同で訓練を実施する場合は、全ての参加事業所名称、階、用 途を本記入欄に記入します。記入欄に記載しきれない場合は、別紙（任意の様 式）に記入し、添付します。 (例) 株式会社東消 2階 事務所
(7) 実施日時	訓練を実施する日時を記入します。
(8) 訓練種別	実施する予定の訓練種別にチェック☑をします。 ※ 放水あり：実際に放水して消火訓練を行う場合をいいます。 ※ 放水なし：実際に放水はせずに消火訓練を行う場合をいいます。 ※ 実際に119番通報（火災通報装置を含む。）をしておける通報訓練を希望する場合 は、必ず消防署に事前相談をし、消防署員の立会いのもと実施してください。 ※ 総合訓練から地震訓練までに該当しない訓練を実施した場合は、「その他」にチ ェック☑をし、() 内に実施した訓練種別を記入します。 (例)「☑ その他（震災図上演習）」 ※ 防災センター要員を対象に行う検証訓練を実施した場合は、「その他」にチエッ ク☑をし、() 内に「検証」と記入します。 (例)「☑ その他（検証）」 ※ 「ネットで自衛消防訓練」を活用した訓練を実施する場合は、部分訓練のうち通 報訓練から地震訓練までの該当するものにチェック☑をし、訓練概要欄の「「ネッ トで自衛消防訓練」の活用」にもチェック☑をします。
(9) 参加予定人員	訓練に参加する予定の人数を記入します（概数でも構いません。）。
(10) 問合せ先	訓練担当者の氏名及び連絡先を記入します。
(11) 訓練概要	実施する予定の訓練内容等を記入します。 ※ 「ネットで自衛消防訓練」を活用する場合は、「「ネットで自衛消防訓練」の活 用」にチェック☑をします。 ※ 夜間想定を訓練を実施する場合は、「夜間想定」にチェック☑をします。 ※ 通報訓練は、119番回線による通報訓練を行うか否かについて記入します（分 かるような記載方法で可）。 ※ 枠内に記載しきれない場合には、別紙（任意の様式）に記入し添付します。 (例1)「『〇月〇日12時30分ごろ、3階レストランから火災が発生し、3階に 逃げ遅れた者がいる。』という想定に基づき、模擬による119番通報、館 内非常放送、初期消火、避難誘導の訓練をビル全体で実施する。その後、 参加者全員に対し消火訓練、通報訓練等の個別訓練を実施する。」 (例2)「ネットで自衛消防訓練」を活用し、通報、初期消火、避難誘導の活動要 領を確認後、実際に建物内の消火器等の位置や避難経路を確認する。